

## 第 25 章

# 災害及び事故

## 第 25 章 災害及び事故

### 水稲被害

平成 15 年における府内の水稲被害の概況は、被害面積 15200ha、被害量 3690t、被害率 12.0%で、前年に比べ被害面積は 9850ha (184.1%)の増加となり、被害量は 154.5%の増加となった。

### 労働災害

平成 15 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 95 人、負傷者(休業4日以上)と合わせて1万 383 人で、前年より 73 人の減少となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が 2888 人で全体の 27.8%を占め最も多く、以下、建設業 1896 人(構成比 18.3%)、商業 1428 人(同 13.8%)の順となっている。最も多い製造業の中では、金属製品製造業が 909 人と大きな割合を占めている。

### 火災

平成 15 年における府内の火災件数は、前年より 94 件減少し 3986 件(前年比 2.3%減)、死傷者は 20 人減少し 825 人(同 2.4%減)となっており、損害額は 11 億 1400 万円減少の 74 億 3052 万円(同 13.3%減)であった。

月別では、5 月の 427 件(構成比 10.7%)が最も多く、次いで 12 月の 405 件(同 10.2%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1639 件(構成比 41.1%)で最も多く、次いで泉北地域 500 件(同 12.5%)、北河内地域 489 件(同 12.3%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 40 件減少し 1715 件(前年比 2.3%減)で最も多く全体の 43.0%を占め、次いで、

「都市・プロパンガス関係」が 35 件増加し 567 件(前年比 6.6%増、構成比 14.2%)となっている。

また、平成 15 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 549 棟増加し 24 万 5388 棟(前年比 0.2%増)となった。

### 交通事故

平成 15 年における府内の交通事故発生件数は、6 万 6392 件(前年比 4.1%増)、死者 291 人(同 9.9%減)、負傷者 8 万 174 人(同 3.7%増)となった。

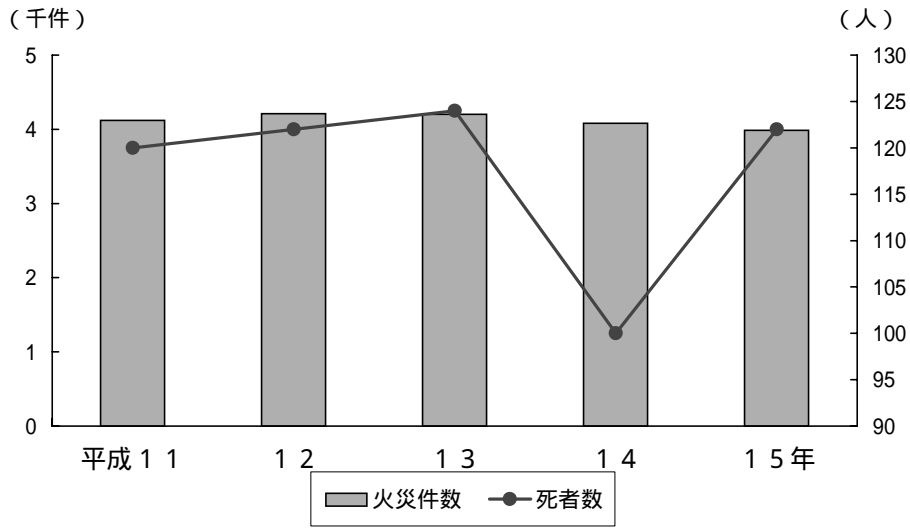
事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 6 万 4308 件、歩行者 66 件、不明 2017 件となっている。

このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 3 万 3804 件と 50.9%を占め最も多く、以下、普通貨物自動車 8333 件(構成比 12.6%)、軽乗用車 6789 件(同 10.2%)、軽貨物自動車 6035 件(同 9.1%)、原付(50cc 以下) 4653 件(同 7.0%)の順となっている。また、法令違反別にみると、安全不確認 2 万 9395 件(構成比 44.3%)、前方不注意 1 万 972 件(同 16.5%)、動静不注視 7083 件(同 10.7%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 5398 件で、死者 82 人、負傷者 5510 人となっており、横断中の事故が 3241 件と全体の 60.0%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、94 万 7993 件(前年比 1.2%増)でこれを都道府県別にみると、東京都の 8 万 6118 件(構成比 9.1%)が最も多く、以下、大阪府 6 万 6392 件(同 7.0%)、神奈川県 6 万 5313 件(同 6.9%)の順となっている。

### 火災件数と死者数の推移



### 交通事故件数と死者数の推移

